



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 日本政府援助プライス法（改正案を含む）(2)(新聞報道 外務省外交史料館レファレンス番号：H222699)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.3 公開日：平成23年2月18日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(112) CD・DVD番号：H22-016
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43582
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

新
聞
報
道

五百三十一万ドル増額を要請

沖繩援助弁務官、米下院で

ワシントン二十一日時事特報 一、沖繩の現状は甚だしく悪化し、二十五日までに引き上げると、米下院から千六百万ドルに
 四、沖繩駐在ワシントン米領事館で、沖の自給要は六人に達せず、米下院に増額を要請する。米下院は、一月一日か
 務長は、米下院に、沖の自給要は六人に達せず、米下院に増額を要請する。米下院は、一月一日か
 三、米下院は、沖の自給要は六人に達せず、米下院に増額を要請する。米下院は、一月一日か
 のべた。

一、沖繩にたいする米下院の援助額は、現在年間二百五十万ドルから、政府は沖繩援助を、これまでの百
 万ドルに増額を要請する。日本

沖縄援助引き上げを承認

米下院軍事委

フライス法修正案

最高二千五百万ドル

67年度は五百三十万ドル増

ワシントン三十日合衆国米下院軍事委員会は三十日、沖縄にたいする継続的の援助の増額案を、海軍の五百五十万ドルから二千五百万ドルに引き上げるフライス法修正案を承認した。フライス法は、この修正案が通過すれば一九六七年度の沖縄援助は七百五十万ドルになると見られる。

上院の可決に期待

政財界 米の長期援助は必要



長 橋立法院議長

米下院軍事委員が米国の沖縄援助にかするフライス法を二千一百五十万ドルに修正する案を承認したと報じた。政財界は、この修正案は、フライス法改正は、米下院で承認された。その間、米下院は、この修正案も困難ではないと見られていた。その理由は、沖縄の復興の必要と、米国の利益の所在にある。

米下院の可決は当然である。先般の上院でフライス法の増額が否決されたのは、例外的なことであり、安心はできない。佐藤・シムソンの発言は、この可決を期待している。上院の可決も期待している。



宮城琉球高専所長

宮城琉球高専所長は、この修正案が通過すれば、沖縄の復興に大きな助けになる。また、米国の利益も守られる。この修正案は、米下院で承認された。その理由は、沖縄の復興の必要と、米国の利益の所在にある。

四月上旬下院通過へ

一 法改正、講和前補償両法案

ワシントン三十日、米下院は、この修正案を承認した。この修正案は、沖縄の復興に大きな助けになる。また、米国の利益も守られる。この修正案は、米下院で承認された。その理由は、沖縄の復興の必要と、米国の利益の所在にある。

産経(朝) 4/27

米下院を通過

沖繩援助
増額案

ワシントン二十六日電 本会議を通過した。
 援助額を年額二百五十万から千
 五百万に引き上げ多ライス法
 改正案は二十五日後の本院
 開議の間裡とされている。

改正案が成立すれば六年七月
 からはじまる六七年度の米園
 の沖繩援助は、七百三十万が
 に引き上げられ、沖繩の教育、保
 健、福祉向上に充てられる。